

平成28年3月18日  
関東運輸局

## 乗合バスの事故防止対策について

関東運輸局では、乗合バスの運行において、人身事故に繋がりやすい「歩行者・自転車との接触事故」や、「車内での転倒事故」の防止の更なる推進が喫緊の課題となっているため、関東地区バス保安対策協議会と合同で「乗合バス事故防止対策検討WG(ワーキンググループ)」(別添1を参照)を開催し、乗合バスの事故防止対策に取り組んでいるところです。

関東管内の乗合バスの事故発生状況(別添2を参照)については、平成27年の「歩行者・自転車事故」及び「車内事故」の発生件数は減少したものの、発生件数のうち約7割が乗務員に起因している状況にあり、関係者によるさらなる取組が求められている状況にあります。

こうした状況を踏まえ、今般、以下のとおり、乗合バスの事故防止対策をとりまとめましたので、お知らせします。

関東運輸局は、引き続き、関係事業者と連携・協調して、乗合バスの事故防止対策を推進してまいります。

なお、バス直前への飛び出しや、車内での座席移動などは、バスの走行中の事故に直結する大変危険な行動です。バス利用者等の方々におかれましても、交通ルールや車内マナーを守り、バスの安全な運行にご協力とご理解をお願いします。

### ○乗合バスの事故防止対策

#### 1 事故防止に効果が期待できる取組の水平展開

- 乗合バス事故防止対策検討WGにおいて取りまとめた「歩行者・自転車事故、車内事故の防止に効果が期待できる取組方事例」(別添3)について、乗合バス事業者への水平展開を行う。  
(随時)

#### 2 ドライブレコーダー映像による乗務員向け教材の作成・活用

- 個々の乗合バス事業者が有しているドライブレコーダー映像のうち乗務員教育として活用できるものを(一社)東京バス協会で収集し、乗務員向け教材を作成・活用していく。  
(平成28年度前半)

#### 3 バスドライバー安全運転コンテスト(仮称)の開催

- 関係者の協力を得ながら、(一社)東京バス協会において、バスドライバー安全運転コンテスト(仮称)を開催し、乗務員の安全意識の向上と安全・安心な旅客の輸送の充実を図る。  
(平成28年度中)

#### 【問い合わせ先】

関東運輸局自動車技術安全部保安・環境課 新井、松澤

電話 045-211-7256(直通) FAX 045-201-8813

(配布先)

神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、  
物流専門紙、ハイタク専門紙

## ○乗合バス事故防止対策検討WG（ワーキンググループ）について

### ◇背景

関東運輸局管内のバスの事故発生件数は、これまでも各バス事業者による取組によって事故件数は減少しているものの、乗合バスの「車内での転倒事故」や、「歩行者や自転車との接触事故」が後を絶たない状況であり、その防止の推進が喫緊の課題となっている。

このため、平成26年4月に関東運輸局と関東地区バス保安対策協議会が合同で「乗合バス事故防止対策検討WG（ワーキンググループ）」を設置し、検討メンバーがこれら事故に関する情報を整理・共有し、連携・協調して対策を検討する。

### ◇検討対象事故

乗合バスの人身事故発生件数の削減を図るため、平成26年度は「車内事故」に関する対策を検討し、取りまとめている。

平成27年度は「歩行者・自転車事故」に関する対策を検討する。併せて、昨年度取りまとめた「車内事故」の防止対策について、効果検証を行い、さらなる対策を検討する。

### ◇検討メンバー（順不同）

- ・ 関東バス株式会社
- ・ 東京都交通局
- ・ 京王電鉄バス株式会社
- ・ 東急バス株式会社
- ・ 小田急バス株式会社
- ・ 神奈川中央交通株式会社
- ・ 横浜市交通局
- ・ 川崎鶴見臨港バス株式会社
- ・ 京成バス株式会社
- ・ 小湊鐵道株式会社
- ・ 西武バス株式会社
- ・ 国際興業株式会社
- ・ 関東鉄道株式会社
- ・ 関東地区バス保安対策協議会（一般社団法人 東京バス協会）
- ・ 関東運輸局自動車技術安全部保安・環境課

## ○歩行者・自転車事故発生状況

### 1. 発生状況の推移

- 自動車事故報告規則に基づく、「歩行者・自転車事故」の発生件数

H24	H25	H26	H27※
39件	42件	40件	32件

### 2. 歩行者・自転車事故の概要

- 平成27年（速報含む）※32件
- 負傷者の状況
  - ・死亡6人、重傷25人、軽傷29人
- 歩行者・自転車事故による乗客の負傷の状況
  - ・軽傷26人

### 3. 事故の発生状況

- 括弧内は発生件数（32件）に占める割合
- 乗務員に起因するもの
  - ・23件（72%）
  - ・死亡5人、重傷18人、軽傷23人
- 「交差点・横断歩道」での事故
  - ・13件（40%）
  - ・死亡1人、重傷12人、軽傷11人
- バスの信号無視による進行
  - ・5件（15%）
  - ・重傷5名、軽傷6名
- 相手の不注意等
  - ・9件（28%）
  - ・死亡1人、重傷7人、軽傷6人

※印：速報値（平成28年3月14日現在）

## ○車内事故発生状況

### 1. 発生状況の推移

- 自動車事故報告規則に基づく、「車内事故」の発生件数

H24	H25	H26	H27※
106件	108件	111件	84件

### 2. 車内事故の概要

- 平成27年（速報含む）※：84件
- 負傷者：重傷32人 軽傷78人
- 推定される事故の原因（要因）
  - ・乗務員に起因するもの（運転操作不適切など）：55件（65%）
  - ・相手の不注意、乗客の走行中の立ち上がりなど：29件（35%）

### 3. 事故類型別発生状況

事故類型	H24	H25	H26	H27※
発進時	27	31	28	17
走行時	34	29	25	21
扉開閉	11	19	13	14
その他	1	1	2	3
相手の不注意等	33	28	43	29
合計	106	108	111	84

- 括弧内は発生件数（84件）に占める割合

※印：速報値（平成28年3月14日現在）